

全体の感想

1	午前中しか視察出来なかつたので、今後機会があればおむつ再生の状況を知りたい。
2	町の廃棄物に対する取組、リサイクルの町ということを実感できる研修だった。有機工場の研修が一番関心があり、おかえり環ちゃんの生産過程の説明を受けたときは、様々な配慮、工夫が確認できたため分別の重要性を再確認できました。
3	私は、午前、午後どちらの研修にも参加しましたが、普段はできないような経験や知識を得ることができ、とても価値のあるものでした。有機工場では、以前から気になっていた生ごみの処理方法を知ることができ、よい経験になりました。 印象深かったもの・埋立処分場の布団の量・有機工場のにおい対策の徹底さありがとうございました。
4	新規採用職員研修以来に各施設を視察して、その頃よりも予算や集落についての知識が増えてる中で今回の研修に参加できたので中身が理解できた。
5	大崎町のリサイクル率が高い理由を知れたので良かった。どのような過程で分別やリサイクルがなされているのか具体的なイメージがなかったので、今回の研修で工夫している点やコスト削減のための取り組みを知ることができた。 今後は、知識をつけて町民の方にきかれたときにこたえられるようにしたい。
6	ゴミの処理の仕方と、理由について新たな知識を得られたことと、再確認できた研修でした。 今後、個人的に不安に思うところは埋め立て処分場が5割まで埋まっていると伺い、残りの5割が埋まるまでに新たな処分方法というのは現段階でおおまか決まっているのでしょうか。新たな埋め立て処分を作るのか、バイオマス焼却をするのか、それともゼロウェイストを目指し施設をつくらないのか、などそういう内容が議論されているのかなど教えられる範囲でいいですので、お手隙の際に教えてもらえたなら、私もゴミを分別してする住民として意識していけたらなと思います。よろしくお願ひします。
7	リサイクルセンターへ行ったことはあったが、じっくり見学することは初めてだったのでとても勉強になりました。実際に見て説明を聞くことで理解度がより深まったと思います。
8	研修会を企画していただき、ありがとうございました。自分の目で実際見ることで、学校の先生方にも、環境学習の重要性をいろいろな研修会で伝えることができればと思います。
9	環境学習に初めて参加しましたが、普段行っている分別や、リサイクルの行動が形になって成果が出ていくことがわかりました。面倒くさいと思われてしまう行動かもしれません、これから時代、必ず大切になってくる行動だと思いますので、職員としてより理解を深め住民の皆様にも周知できるようになろうと思いました。
10	本町が日本に誇るリサイクル事業については、町民の関心も高く、職員として把握しておかなければならないと日頃より思っておりましたので、本研修は大変良い機会になったと思っています。 このような研修などで職員に共通認識を持っていただくことで、より一丸となってリサイクル事業を推進できるのではないかと思いました。
11	おむつ再生処理施設には、びっくりしました。完成度はまだまだという話でしたが装置等、すばらしいと思いました。ただマイクの調子が悪かったのか説明があまり聞こえずモヤモヤしたところもありました。 あと処理をするのに5倍の水が必要ということに本当にECO?技術の発展を願います。ゴミの分別、確かに最初はたいへんだと思いますが慣れればたいしたことないです。ほとんどの人がそうだと思います。生きていく上で当然のことかと。もう少しゆるく出来ないかという議員さんがいるそうですが票取りより大崎町の未来を考えてほしいものです。
12	研修自体はいろいろ勉強になったが、役場全体を2日間だけで分けるのは仕事の都合もあつたりするので少し難しいかなと感じました。ありがとうございました。
13	役場に勤務し、初めて環境の各現場を見学ができた貴重な研修になりました。職員として実際の現場を見ることは、大崎町が取り組むリサイクルをより理解し、町民の皆様に伝え、説明していく上で重要なことだと思いました。自分自身においても、リサイクルに取り組む理由と実行に繋がる良い機会となりました。ありがとうございました。
14	研修を受けて、再認識でき、大崎リサイクルシステムへの協力・推進をしていきたいと感じた。

15	1日の参加が難しかったので、お昼からのオムツ再生処理施設に参加しました。普段の一般ごみは1月に1袋を出すかださないですが、子育て中はオムツで一般ごみをだす頻度がかなり増えたのを覚えています。そのオムツが再生可能となれば、本町の埋め立て施設の更なる延命化が図られるため、大変有意義なものだと考えます。今回の研修により正しくリサイクルするためには正しく搬出する必要性を再認識させられましたので、オムツを利用している子育て世帯・介護の担い手世代に正しく認知されるよう、これからも研修が必要であると感じました。研修、お疲れさまでした。
16	最終処分場の延命化が目的で始まった資源ごみのリサイクル事業であるが、このリサイクルには否定的な意見もあると思われる。しかし、焼却処分場を建設するとなると建設費に30～40億円、焼却炉内の耐火れんがの更新などのランニングコストも毎年かかり、その負担は住民にのしかかるということをみんな認識しなければならないと思う。今回の研修を通じて、最終処分場やリサイクル事業に携わっていらっしゃる方々に対して、感謝の気持ちでいっぱいです。
17	リサイクルセンターは久しぶりの見学だったので、改めて説明を聞いてびっくりすることも多かった。おむつのリサイクルでは、どのようにリサイクルしているの？と思っていたが、再生処理を知るところがきて、『へ～』と感心する部分が多かった。町内にある施設でも知らないことが多いので、学びになつた。 ただ、業務が忙しい中での参加だったので、研修日程などにもう少し余裕があるとありがたいです。
18	ユニ・チャーム様の取組だけでなく、おむつ専用袋のゴミ出しの現状（不具合品等）についても説明があり、おむつゴミを出している当事者として、身が引き締まる思いでした。水処理で発生した汚泥については、現状産廃となっているようなので、今後堆肥化が可能になることに期待したいです。
19	今回は紙パンツリサイクルが研修の主な内容でしたが、3年に1回でもよいので開催してほしいです。なお、せっかくの機会に雑音が大きすぎて声が聞こえませんでした。もったいなかつたです。
20	改めて学習したことで、より深く理解することができたし、処理しきれない草木の再資源化に取り組んでいることに感動しました。少子高齢化によって生ごみの処理量も減少傾向にあるなか、持続可能な町政のため新たな取り組みも始まっていることを知ることができたので良かった。
21	大変有意義な研修でした。段取りいただき担当課の皆様、有難うございました。
22	リサイクルについては、もう少し詳しい周知ができると良い。各公民館にパンフレットを張るなどと合わせて、広報誌に毎号QRコード掲載できないか？ 特に分別・再生過程の動画配信や分別作業風景、異物混入の状況や手作業で選別している手間暇など知られていらない情報が多いと感じた。 町民がもう少し分別に理解を示すことで、リサイクル収益や公費負担も変化が生じるものと思う。
23	リサイクル＝環境係ではなく、職員の自分化が必要。職員ひとり一人が外に対して説明できるようにならなければいけないと感じました。また、おむつの分別等については、保健福祉課の職員が乳児教室をする際に説明するなど連携できれば良いと感じました。
24	オムツ再生処理施設が最も学びが大きかったの間違いないですが、他の3施設についても、新たに情報を得ることができ、かつ視察案内をする際に効果的に考えてもらう、大崎町の取り組みについて理解してもらう工夫を多く勉強させていただきました。 一町民として、町内外関わらず大崎町の取り組みの意義を発信するとともに、一緒に協働していきたいと強く感じられる研修でした。
25	有機工場及び埋立処分場については参加できなかったが、オムツ再生処理方法や、資源ごみ中間処理でもさらに分別（プラや缶など）しなければならないことなど勉強になった。
26	リサイクルに関して意識が、あがり分別に対して取り組みの意識が上がった。

	実際の工程を知ることで、再生のために綺麗な状態でリサイクルに出す必要があること、再生された紙パンツは通常料金より高い値段で販売されることにも納得ができた。 資源ゴミ中間施設についても、汚れたものや処理が不十分なものはリサイクルできないこと、中間処理の手間がかかってしまうことを改めて聞くことで、リサイクルへの気持ちを再燃させることができました。プラについても、更に施設の方で分別してくださることを知り、自分たちでできるところだけでもきちんと仕分けしたいと思いました。
27	
28	研修自体は参考になったし、職員が知っておくべきことだと思うが、他の部署の業務のことを考えて日程の組み方をもっと検討してほしい。
29	「大崎リサイクルシステム」を改めて学ぶことができ、知らなかつたことも多く有意義な研修になりました。ありがとうございました。
30	尿が含まれ雑菌が繁殖しているオムツをどうやって資源化をしているのかを、今回の研修で学べ、大変勉強になった。
31	有機工場、埋め立て処分場、リサイクルセンター等とても勉強になりました。 分別・リサイクルは大人からこどもまで全員が取り組みを継続していかなければならぬため、今後も子どもへの教育も含め頑張っていきたいと思いました。 また、残余年数40年と言われている埋め立て処分場の将来について気になります。埋め立てる以上は必ず限界がやってくるため、今のうちから考えていく必要があると思います。 関係者の皆様ありがとうございました。
32	大崎町に住んで〇年目になりますが、今回の研修を聞いてみて初めて知ったことが多く、リサイクル日本一の町の職員として恥ずかしいことだと感じました。研修外でも個人的に勉強しなおしたいと思いました。 日頃の業務のなかでは学ぶことができないような内容だったので、今回参加して良かったと思いました。
33	実際に現地を見ることで具体的に自分たちの排出されたものがどのように資源となっているか改めて知ることができました。 何度か現地に視察等の受け入れで行っておりましたが、その頃より埋立処分場のごみの高さが高くなっていることに衝撃を受けました。 埋立処分場の延命化のために、これからも分別を子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思いました。
34	
35	現在のリサイクル再生方法や処理状況がよく理解できた。またリサイクルされる物がどういう風に形となって生まれ変わるかの実物または写真等あればより良いと思った。（あると思いますが）季節によっては飲み物も必要かと・・・。
36	普段何気なく捨てている様々な種類のゴミが再生されていく工程を学ぶことができ、自分の生活でも気をつけようと思った。
37	貴重な研修の機会をありがとうございました。 先ほども記載した通り、普段家庭で行なっている分別のその後を知ることができて、とても勉強になりました。プラスチック等の仕分けを全て手作業で行っていると知り、より一層ゴミの出し方についての意識が高まりました。 住民の努力はもちろん工場等で務められている方々の業務があってのリサイクル率1位なんだと感じました。
	初めての参加でとても勉強になりました。大崎町のリサイクル日本一は、実はリサイクルセンターで働く方々のおかげではないかと思いました。分別が面倒と思っている人にぜひ見学に行ってもらえたうらう思います。 リサイクル以外の物（町に返すゴミ）の籠が大崎町分が高く積まれていたことが、これでよくリサイクル日本一と言えるなど恥ずかしかったです。